従業者向け 児童発達支援評価表

○本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		国の規定を満たしています。空間を広く使えるようにテーブル配置や仕切りを設け工夫しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		法令で必要とされている配置をしています。イベントや活動に合わせて、職員を増やして対応する事もあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		フロアと玄関の境に低い段差があります。靴を揃えて脱ぐ場面での区切りとなっています。またグループ支援と個別支援のスペースを分かりやすくしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		空気清浄機(エアドック)の使用とエアコンで空調の管理をしています。始業時の清掃ではアルコール消毒も続けます。季節に合わせた装飾は、シンプルにしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		仕切りで区切ったスペースを2カ所と小部屋を配置しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		分かりやすく写真で記録した際は、自分の目に届かない所も確認し、細かい動きや支援法について振り返りに繋がっています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		アンケートを1年に1回実施し、業務改善に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎朝の打ち合わせ時間と一日の振り返りで意見を確認しています。またその内容について機会を設け掘り下げ業務改善に繋がっています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25%	75%	現在は第三者評価は考えていないが、今後は検討する努力をしています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		外部研修や事業所内研修を行い、知識や技術の向上を図っています。今後は、会社内合同研修も含め充実した年間研修計画を立てていく予定です。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		ホームページで公開しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		児童や保護者と面談を行いアセスメントに基づいて計画を作成していますが、より分かりやすい説明が求められています。成長に合わせた支援の選択方法等、工夫できるようにしていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		幼稚園での様子や就学前会議等から得た情報も共通理解して支援に活かしています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		毎回、打ち合わせで確認しています。また、目標を課題ファイルに閉じ確認しやすくしています。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	HUGシステムアセスメント、本人アセスメント①～④、領域別チェックリスト(日々の行動観察)を使用しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	HUGシステムにて支援計画(案)作成がなされています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	各自案を持ち寄りチームで検討しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	日々の活動報告や個別の振り返りをもとに工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	前半は、集団活動を行い後半は個別活動をしています。最後はお楽しみ活動を入れています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	開始前に必ずタイムスケジュールの確認と職員の動きを確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	支援終了後に必ず振り返りを行い気付いた点等を共有しています。その日の改善点を今後は分かりやすく記録していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	HUGシステムと個別ファイルに記録保存しています。記録の取り方は改善が必要です。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	定期的なモニタリングを行い会議や面談で支援計画の変更を判断しています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	児童発達管理責任者や担当職員が責任をもって参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	協力医療機関があります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	幼稚園からの情報提供や就学前会議に参加して情報を共有しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	保護者の希望を確認し就学前会議に参加しています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			

	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	75% (未回答 25%)		関係機関の研修に参加しています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	今後、機会を設けていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		毎回、保護者を交えて振り返りをしています。お時間が限られている為、お互いに伝え漏れの心配があります。より丁寧なやり取りをしていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	療育中に家族も参加できるプログラムを準備していますが、見学で終わっています。参加しやすくする工夫をしています。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		新規契約時に説明をしています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		面談を通して聞き取りをしています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		同じ書面を2部準備し確認して頂いています。一部は保護者控えとなっています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		保護者様の相談は、随時受付しています。実施期間が短かった為、面談の機会が上手く取れない状態でした。今後は定期的に面談を設けていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	利用期間が短く今回は保護者会を開催する事ができませんでしたが、今後機会を設けていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		相談は随時受け付けています。相談用紙に記入し、その後の経過も記録しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75% (未回答 25%)		HUGシステム、HPやインスタグラムで活動の様子を発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		施錠できる書庫で管理しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		資料等を持ってできるだけ丁寧な説明と対応を心掛けています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%	今後、実施を検討していきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		定期的にマニュアルの見直しを行っています。周知の強化を図っていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		年2回 防災訓練と避難訓練を実施しています。また引き渡し訓練も行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		新規契約時に確認をしています。その後の服薬の変更やてんかんの発作については、来所時等に声をかけて様子を確認しています。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	新規契約時にアレルギーの有無を記載して頂いています。また、お菓子を食べる際は、その都度保護者様に確認をしています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	毎月、安全点検を行うと共に改善や補修をしています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	契約時に説明をしています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	定期的に時間を設け検討しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	研修を含めセルフチェックを定期的に行っています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	契約時に保護者様にご説明をしています。規約に沿って対応しています。また支援計画書に記載後も改めて一緒にご確認して頂くようにしています。